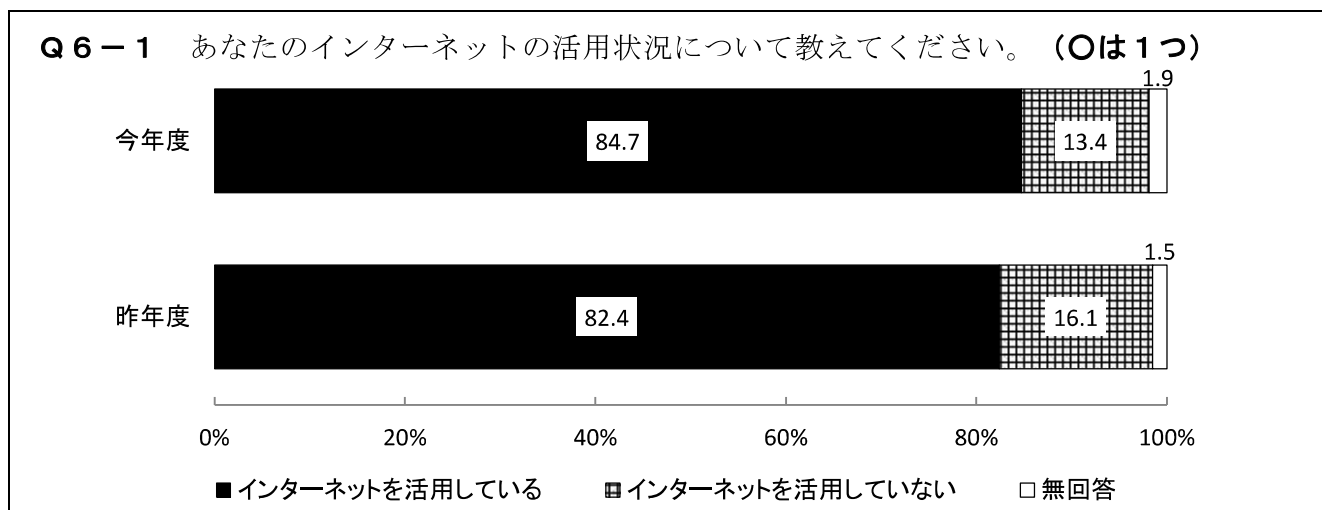
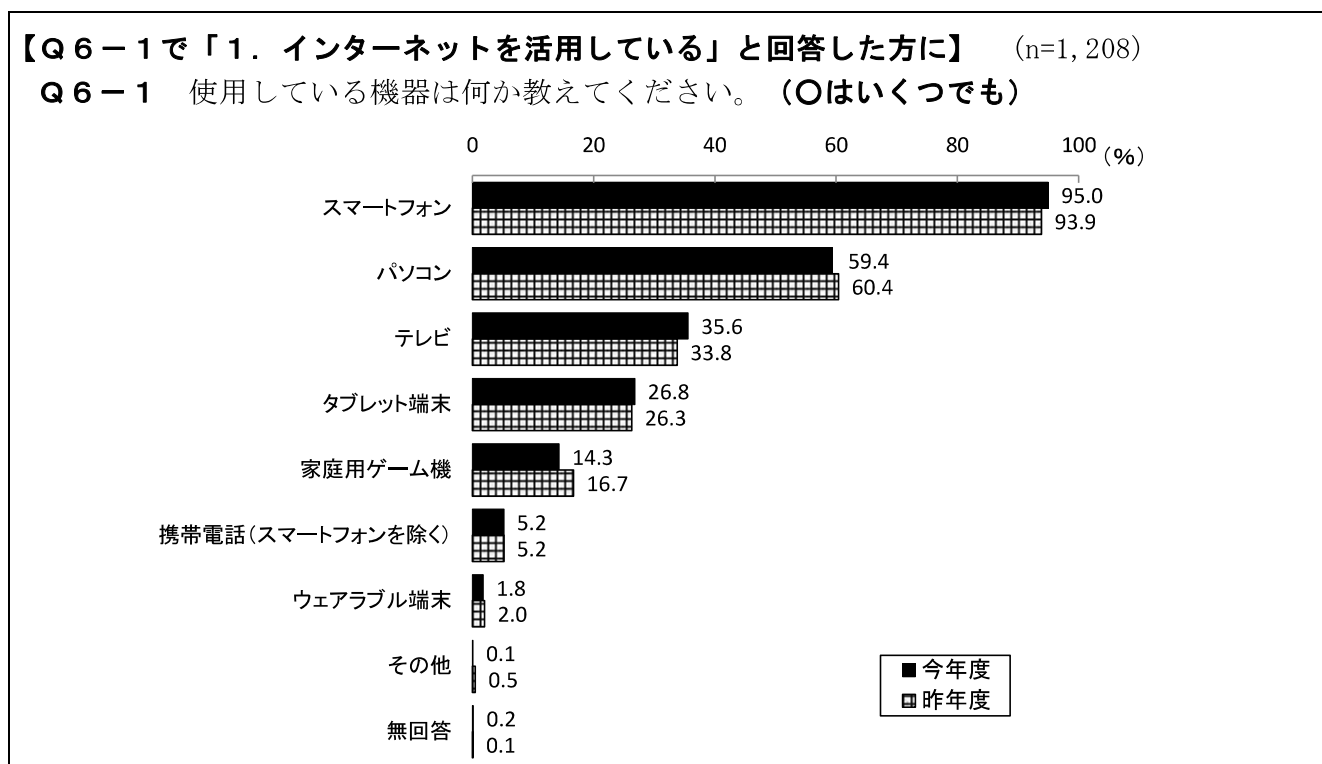


6. デジタル化について

6-1. インターネットの活用状況



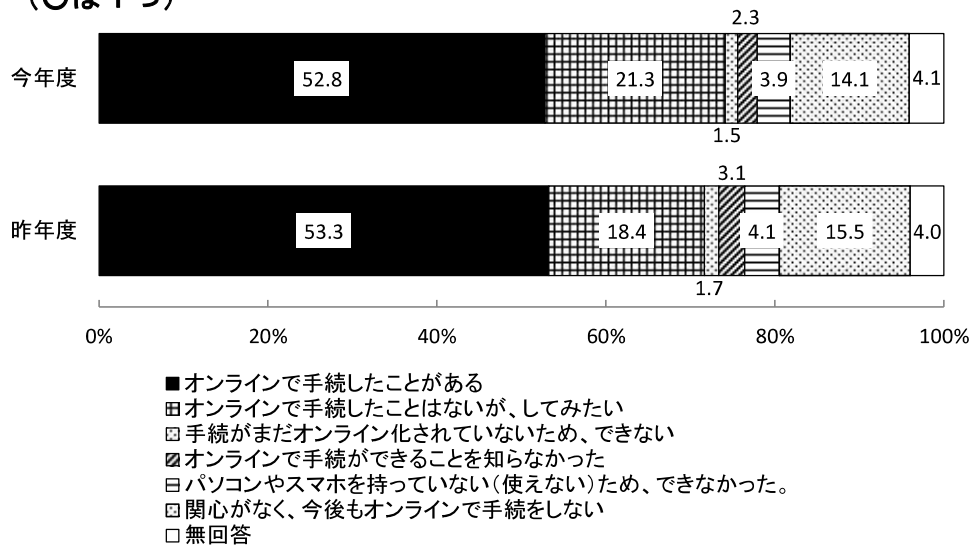
インターネットの活用状況について、「インターネットを活用している」が84.7%、「インターネットを活用していない」が13.4%となっている。昨年度と比較すると、「インターネットを活用している」は2.3ポイント上昇している。



Q 6-1で「インターネットを活用している」と回答した方に、使用している機器について質問すると、「スマートフォン」が95.0%と最も高く、次いで「パソコン」が59.4%、「テレビ」が35.6%、「タブレット端末」が26.8%、「家庭用ゲーム機」が14.3%の順となっている。昨年度と比較すると、「家庭用ゲーム機」は2.4ポイント低下している。

6-2. 申請・届出等の行政手続のオンライン活用状況

Q 6-2 あなたは、申請・届出等の行政手続をオンライン（施設予約やマイナポータルなどの各種申請システム・電子メール等）で手続したことがありますか。
（○は1つ）

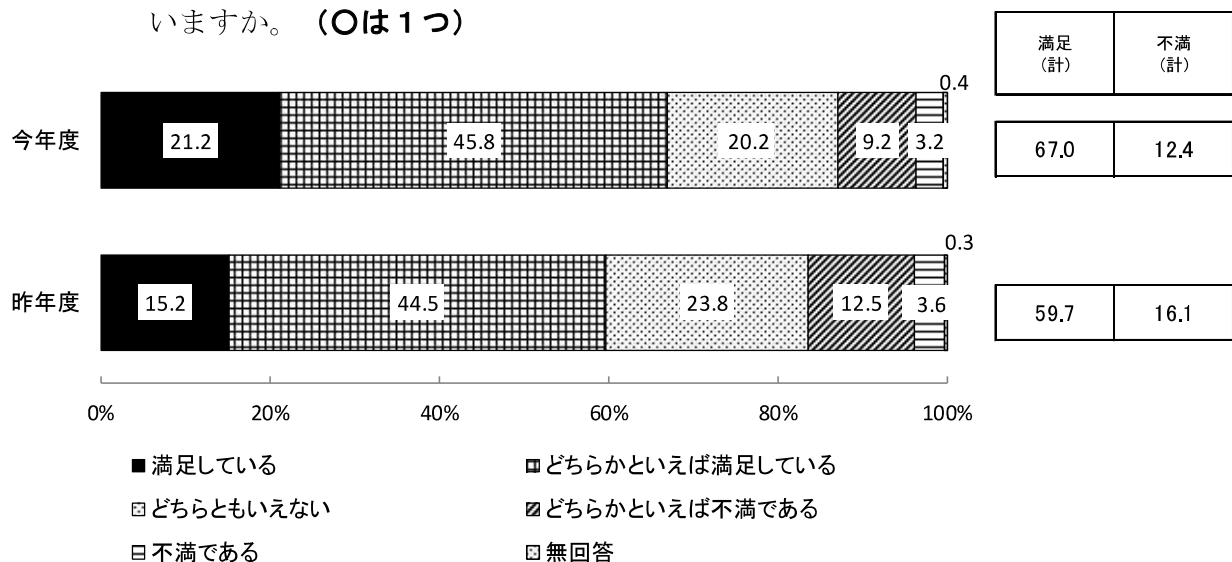


申請・届出等の行政手続のオンライン活用状況について、「オンラインで手続したことがある」が52.8%、「オンラインで手続したことはないが、してみたい」が21.3%となっている。昨年度と比較すると、「オンラインで手続したことはないが、してみたい」は2.9ポイント上昇している。

6-3. オンラインでの手続の満足度

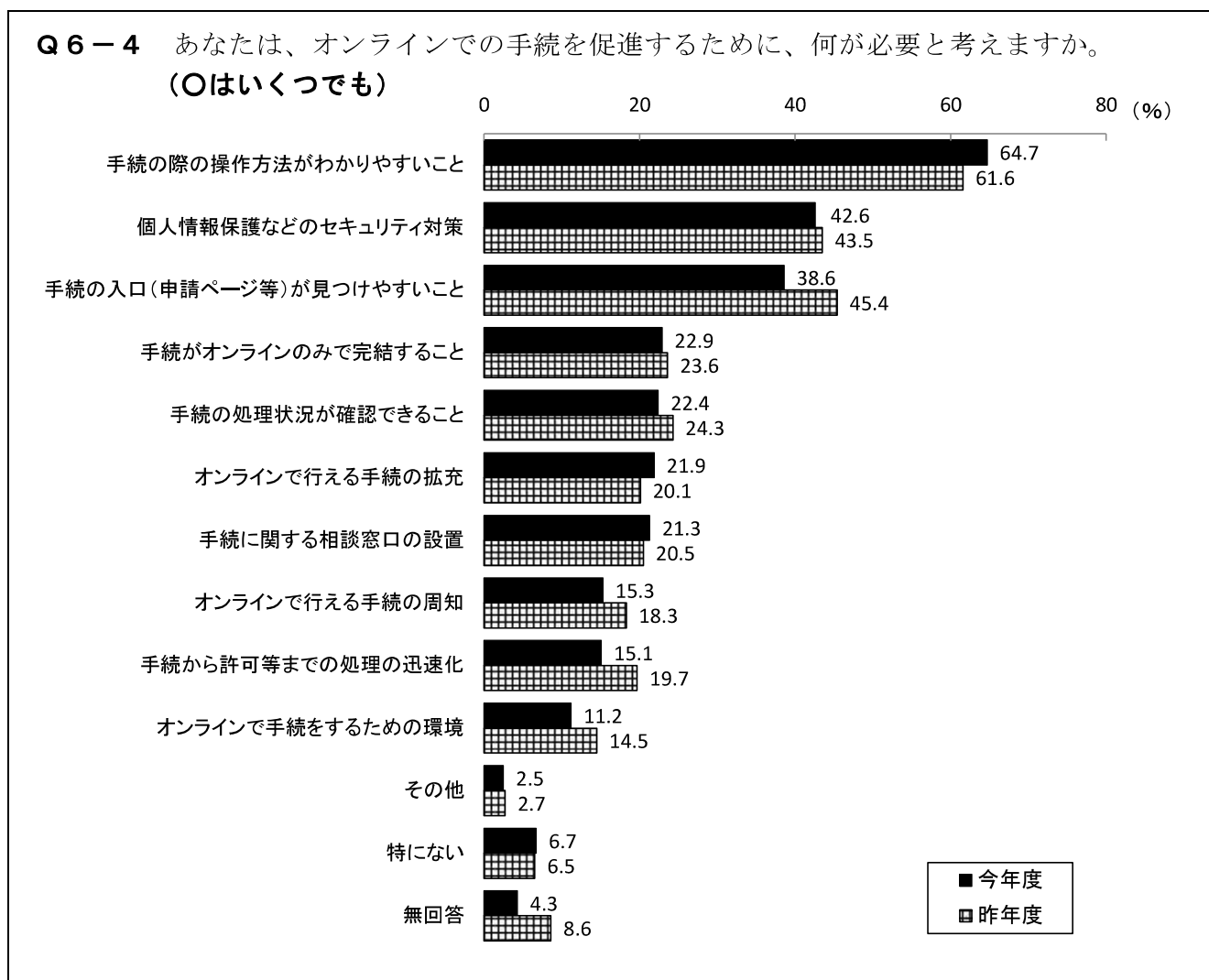
【Q 6-2で「オンラインで手続したことがある」と回答した方に】（n=753）

Q 6-3 オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、どの程度満足していますか。（○は1つ）



オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足（計）』が67.0%、「不満である」と「どちらかといえば不満である」を合わせた『不満（計）』が12.4%となっている。昨年度と比較すると、『満足（計）』は7.3ポイント上昇し、『不満（計）』は3.7ポイント低下している。

6-4. オンライン手続の促進に必要なこと



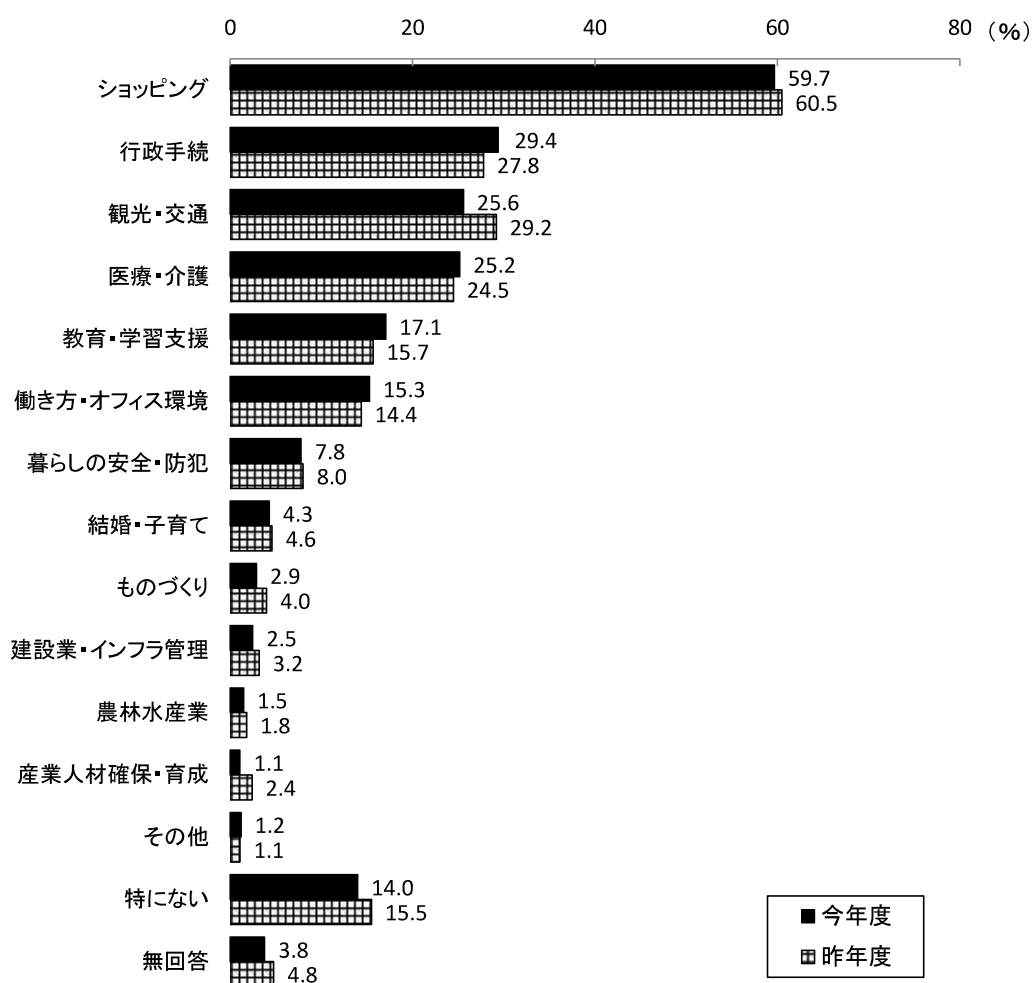
※選択肢「手続の入口(申請ページ等)が見つけやすいこと」は昨年度「手続を行うための入口のわかりやすさ」より変更となりました。

※選択肢「手続の際の操作方法がわかりやすいこと」は昨年度「手続の際の操作方法のわかりやすさ」より変更となりました。

オンライン手続の促進に必要なことについて、「手続の際の操作方法がわかりやすいこと」が 64.7%と最も高く、次いで「個人情報保護などのセキュリティ対策」が 42.6%、「手続の入口(申請ページ等)が見つけやすいこと」が 38.6%の順となっている。昨年度と比較すると、「手続の際の操作方法がわかりやすいこと」は 3.1 ポイント上昇し、「手続の入口(申請ページ等)が見つけやすいこと」は 6.8 ポイント、「手続から許可等までの処理の迅速化」は 4.6 ポイントそれぞれ低下している。

6-5. デジタル技術の活用で便利になったと思う分野

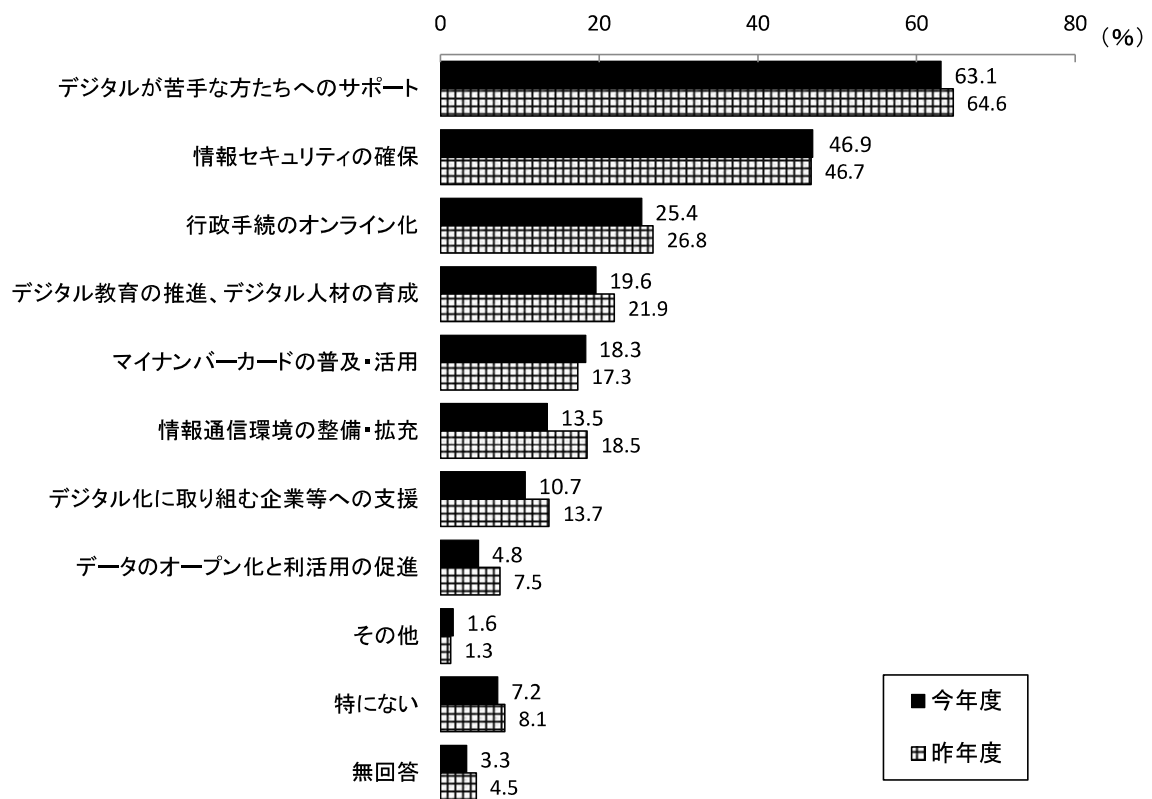
Q 6-5 あなたは、どのような分野において、デジタル技術の活用で便利になったと思いますか。（〇はいくつでも）



デジタル技術の活用で便利になったと思う分野について、「ショッピング」が 59.7%と最も高く、次いで「行政手続」が 29.4%、「観光・交通」が 25.6%、「医療・介護」が 25.2%の順となっている。昨年度と比較すると、「観光・交通」は 3.6 ポイント低下している。

6-6. デジタル化が進むために必要な取組

Q6-6 本県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。
(〇はいくつでも)



デジタル化が進むために必要な取組について、「デジタルが苦手な方たちへのサポート」が 63.1%と最も高く、次いで「情報セキュリティの確保」が 46.9%、「行政手続のオンライン化」が 25.4%、「デジタル教育の推進、デジタル人材の育成」が 19.6%、「マイナンバーカードの普及・活用」が 18.3%の順となっている。昨年度と比較すると、「情報通信環境の整備・拡充」は 5.0 ポイント、「デジタル化に取り組む企業等への支援」は 3.0 ポイントそれぞれ低下している。